

# ライフの多様性に開かれた 保健医療社会学をめざして

- ビッグデータ／研究支援／市民科学 -

日程

2026年6月13日(土)～14日(日)

会場

摂南大学 寝屋川キャンパス 3号館

大会長

檜田 美雄 摂南大学 現代社会学部

## 大会シンポジウム

第一演者 武川 正吾(明治学院大学)

ライフスタイルに中立的な研究支援の意義  
- これまでと、これから -

第二演者 木下 衆(慶応義塾大学)

「研究者の生活」を社会学するために  
- あるいは、社会学者が生活を「語る」ために -

コメンテーター

藤澤 陽介(住友生命保険相互会社)  
伊藤 美樹子(滋賀医科大学)



会場

摂南大学寝屋川キャンパス(駐車場利用不可)

・駐車場は利用不可ですが、個別の事情により対応しますので、事務局まで、事前にご連絡ください。

大会参加申し込み

①6月7日(日)までの申し込みを強く推奨(ネームカード準備と連動する予定)

②参加費:

一般会員 6000円、一般非会員 7000円

学生会員・シニア会員・割引会員 2000円

学生非会員・シニア非会員・割引非会員 3000円 ※シニアの方:65歳以上の方

※割引対象の方:月収15万円以下の方(自己申告)(介助者・引率者の方は無料)

市民の皆様へ  
市民公開RTDのご案内

第52回日本保健医療社会学会大会のプログラムの一環として、広く市民の皆様を対象とした「市民公開RTD」を開催いたします。(詳細は裏面)

大会事務局

〒572-8508 大阪府寝屋川市池田中町17-8

摂南大学 現代社会学部 第52回日本保健医療社会学会大会事務局

☑ 52nd@jshms-conference.jp

大会ホームページ

第52回日本保健医療社会学会大会



<https://jshms-conference.jp/>



# 【第52回 日本保健医療社会学会大会】

## 主要な内容

### オンデマンド

#### 大会長講演

ライフの多様性に開かれた  
保健医療社会学をめざして

大会長：櫻田美雄(摂南大学)  
司会：堀田裕子(摂南大学)

#### 教育講演

人生の最終段階を読み解く市民科学  
ービッグデータと「看取り」の社会的想像力

講師：伊藤美樹子(滋賀医科大学)  
司会：朝倉隆司(滋賀医科大学)

### RTD(対面)

1. 当事者知と専門知の考察ー盲ろう者,産婦,吃音者,アトピー性皮膚炎病者の「知」から拓く/拓かれる関係性ー
2. デジタルヘルスの社会学ー科学技術と社会の相互作用の探究ー
3. 生きる権利10 安楽死に関する徹底討論ー良い生のためにー
4. 乳児院の今後のあり方についてー子どもの権利保障を基盤とした家庭支援型実践に向けての検討ー
5. ライフの多様性に開かれた保健医療社会学をめざすRTD(開催企画RTD)

\*このほか,9部会が開催されます(全て対面)

\*メインシンポジウムの概要は表面に記載しました。

## 【市民の皆様へ】

### 市民の公開RTD(ラウンド・テーブル・ディスカッション)のご案内

第52回日本保健医療社会学会大会(表面の二次元コードを参照)のプログラムの一環として、広く市民の皆様を対象とした「市民公開RTD」を開催いたします。予約不要、無料です。

関心のあるテーマがございましたら、ぜひお気軽にご参加ください!

### 開催概要

 開催日 2026年6月13日(土) 午後

 会場 摂南大学 寝屋川キャンパス 3号館 2階「322教室」  
\*市民公開枠で参加の方は3F総合受付にまずお立ち寄りください。

 参加費 無料(本企画スペースへの参加に限ります)

### タイムスケジュール・テーマ

13:00~15:00 松浦智恵美(立命館大学大学院)

「当事者知と専門知の考察」

~盲ろう者,産婦,吃音者,アトピー性皮膚炎病者の「知」から  
拓く/拓かれる関係性~

15:30~17:30 志水洋人(名古屋大学)

「デジタルヘルスの社会学」

~科学技術と社会の相互作用の探究~